

# 自衛隊から「バス運転者」へ

～新たな道への挑戦！～

奈良交通には、自衛隊出身の再就職者が多数在籍中！



令和8年3月 奈良交通入社

並井 能彦氏

## 新たな道への挑戦

私は昭和62年3月に陸上自衛隊へ入隊し、普通科部隊では小銃手、小銃班長、小銃小隊陸曹、運用訓練陸曹、対戦車分隊長、対戦車小隊長として勤務しました。奈良地方協力本部では管理班長および先任広報官を務め、最後は業務隊糧食班主任調理監督官として任務を終えました。この間、多くの仲間と支え合い、切磋琢磨しながら、「任務必成」を合言葉に数々の困難を乗り越えてきました。

退職後は、「自分ならどのような仕事でもできる」という漠然とした自信があり、給与面を重視して就職援護を受け、小売業に再就職しました。しかし、仕事にやりがいを見いだせず、2年で退職しました。その後、ハローワークなどで就職活動を行いました。年齢がネックとなり、なかなか採用には至りませんでした。

そのような中、任期満了で退職した後輩たちが奈良交通に再就職し、現在も活躍していることを思い出しました。相談したところ、その日のうちに採用試験の日程が決まり、後日受験して、無事に入社することができました。

入社後は研修センターに入所し、約3か月間の教習を受けました。19歳から60歳までの幅広い年齢層の仲間とともに学び、切磋琢磨しながら、運転技術と必要な知識を身に付けました。

研修修了後は葛城営業所に配属となり、路線教習、横乗り教習を経て、現在はワンマン運行に従事しています。営業所には自衛官時代の後輩もおり、昔話に花を咲かせたり、仕事について気軽に相談したりしながら、楽しく勤務しています。また、先輩や上司の皆様も気さくで優しく、安全かつ計画どおりにバスを運行するため、全員が一丸となって連携しています。上下左右の意思疎通が取れた、素晴らしい組織だと感じています。

葛城営業所は中南和地区の広大な地域を担当しており、公共交通手段が限られている地域の皆様にとって、なくてはならない存在です。お客様から、運賃をお支払いいただいているにもかかわらず「ありがとうございます」と感謝の言葉を頂戴することがあります。そのたびに、地域の暮らえを支える仕事に携わっていることを実感し、誇りとやりがいを持って日々勤務しています。

## ◎ これから定年退職を予定されている自衛隊員の皆様へ

自衛隊を定年まで勤め上げた方であれば、これまで培ってきた責任感、協調性、行動力などを生かし、多くの仕事に対応できる力をお持ちだと思います。

一方で、民間企業の中には、自衛官の能力や経験について十分に理解されていない場合もあります。また、企業が若い人材を求める傾向があることも現実です。

収入はもちろん大切ですが、それと同時に、その仕事にやりがいを感じられるか、誇りを持って続けられるかを考えることも重要です。充実した第二の人生を送るためにも、就職活動には真剣に向き合い、自分に合った仕事を見つけていただきたいと思います。